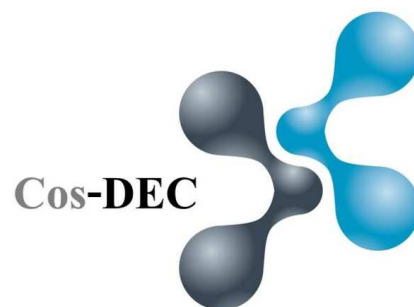

Cos-DEC (クラウド型オープンDB協議会)

[Cloud type OpenSchema Database Enterprise Consortium]

のご紹介



Cos-DECと「クラウド型オープンDB」

Cos-DECとは？

“Cos-DEC”とは、『クラウド型オープンDB協議会』のことです。
以下の特徴があります。

▶ 「クラウド型オープンDB(※)」を
普及・促進します。

▶ 複数のIT関連企業で構成された
“企業同士のコミュニティ”です。

▶ 構成企業の特徴に応じた、
“サービスや製品を提供”します。

(※)「クラウド型オープンDB」とは？

データベースの構造などがオープンなデータベースです。
ネットワークを経由したクラウド・サービスなどとして利用できます。

▶ クラウド利用できる
データベース・サービスです。

▶ 専用線 (IP-VPN等) やLG-WAN
を経由して利用できます。

▶ DBのテーブル構造などがオープンな
DB (オープン・データベース (※)) です。

(※) オープン・データベースの特徴とは？

オープン・データベース(オープンDB)の特徴は、以下の3つです。

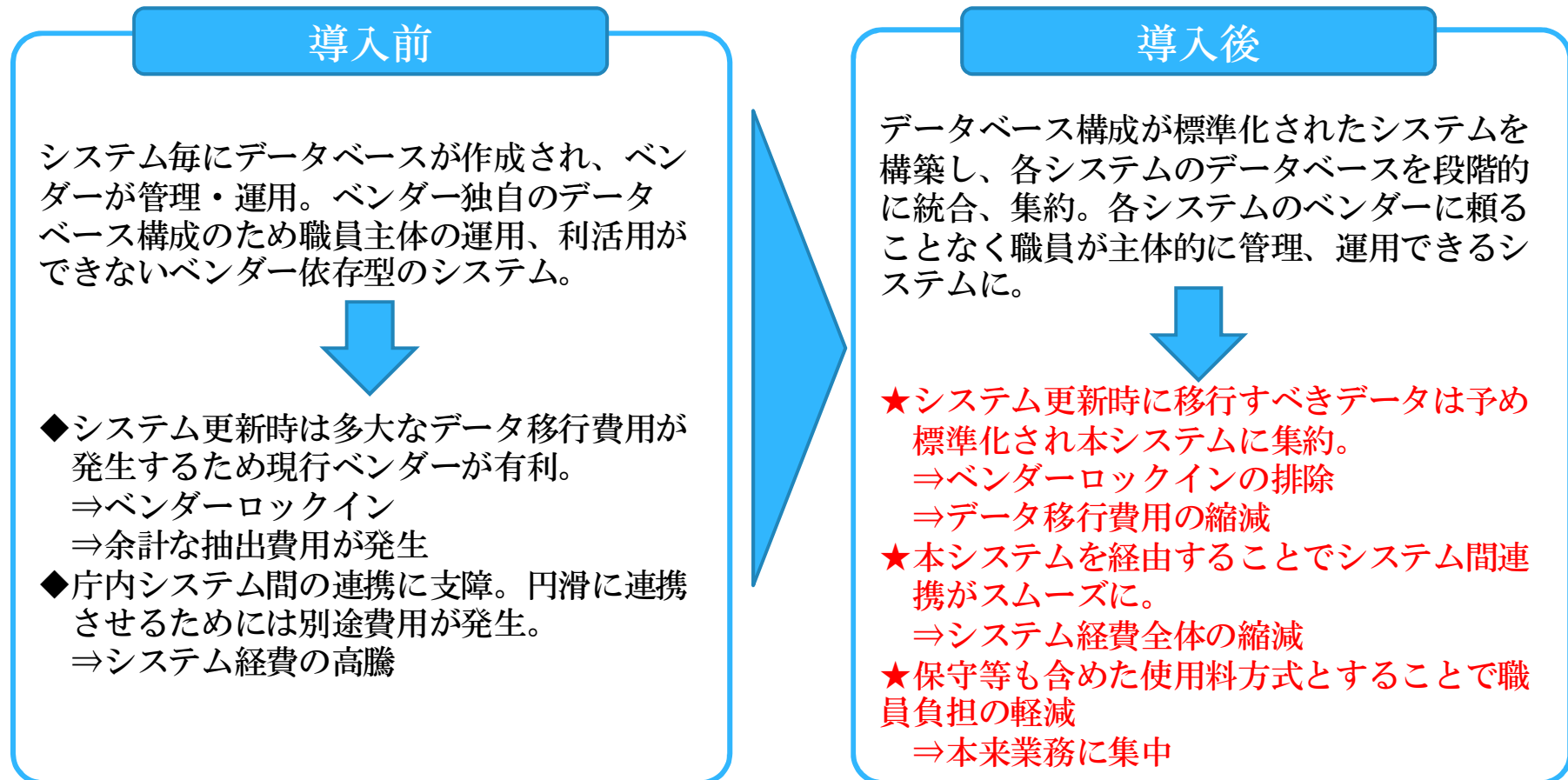
▶ ① 「地域情報プラットフォーム」や「中間標準レイアウト」などの標準に準拠しています。

▶ ② ①の標準に加えて、複数団体の検討結果を反映しています。

▶ ③ DBのデータ項目や構造などは、全て公開していきます。(データがベンダー依存しません)

自治体から見た「クラウド型オープンDB」に対する期待

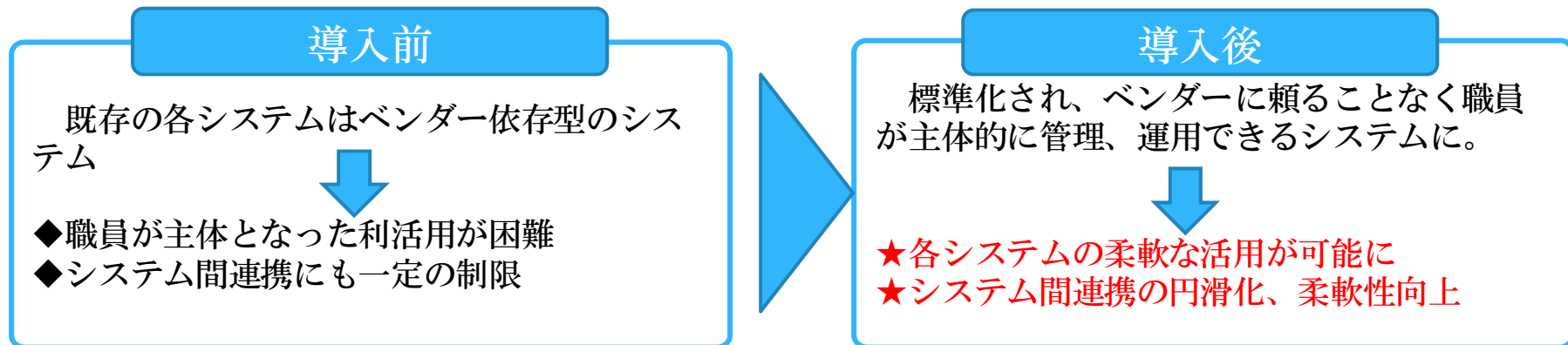
(1) ベンダーロックインの排除とシステム経費縮減、職員負担軽減



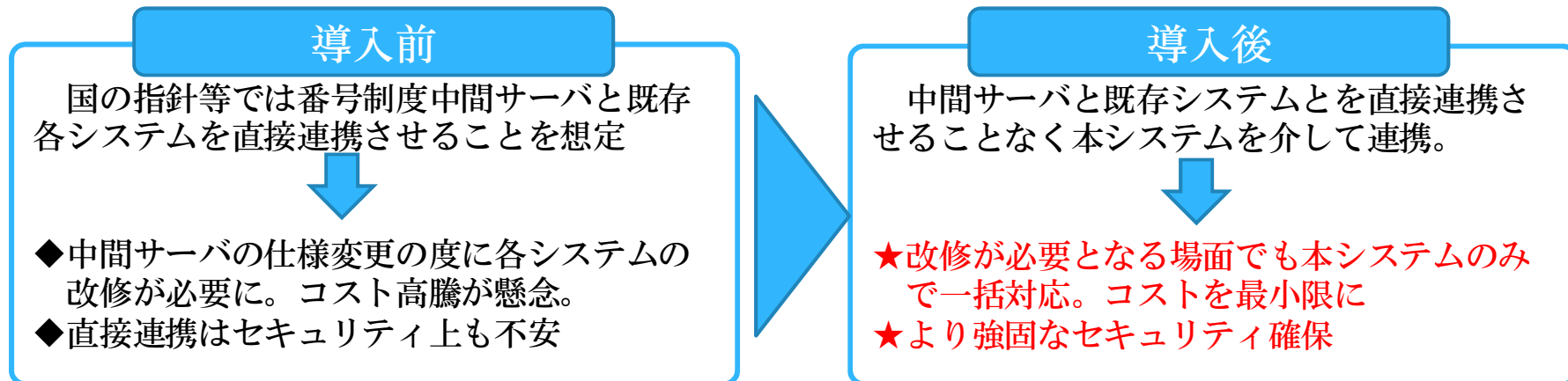
ベンダーロックインの排除とシステム経費縮減・職員負担軽減に直結

自治体から見た「クラウド型オープンDB」に対する期待

(2) 職員が主体的に利活用⇒市民サービスの向上



(3) 番号制度への効率的対応とセキュリティ確保



市民サービスの向上と番号制度を見据えたシステム最適化も期待

Cos-DECが目指すのは、

全ての自治体が、

“ 情報システム部門の有無などに関わらず、
住民情報などについて、自らの責任（行政の
責任）のもとに管理・運用できている状態 ”

いわゆる、

“ 『データ・ガバナンス』が確立できてる状態 ”
になることです。

Cos-DECは、「クラウド型オープンDB」によって、以下を実現します。

1. 効率的・効果的な番号制度への対応
(外部連携の際の唯一となる機能を提供)

2. 簡便なデータ抽出、データ移行

**3. ベンダーロックインしない
高付加価値サービス**
(総合窓口, BI, CMS など)



「クラウド型オープンDB」の訴求ポイント1

1. 効率的・効果的な番号制度への対応

外部連携の際、自治体における唯一の連携ポイントになります！

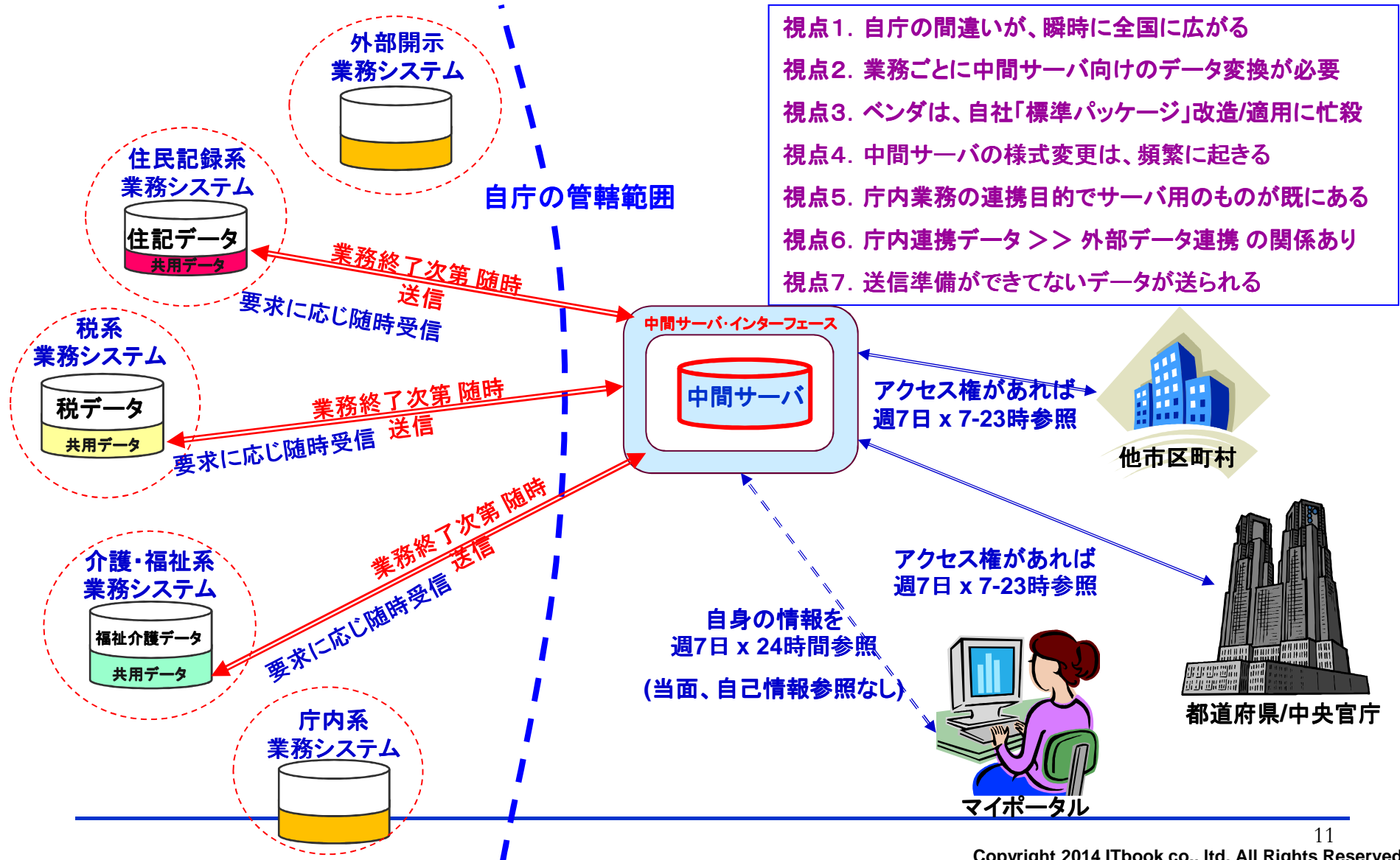
番号制度は、段階的に利用範囲が拡大されていくことから、「成長する制度」といわれています。

つまり、他団体との住民情報などのやり取り(外部連携)が徐々に拡大されるため、今後の改修経費の積重ねなどが膨大になることが予測されます。

よって、各団体毎に設置する外部連携のポイントは、1つに決めておいた方が効率的・効果的になります。その方が、システム改修箇所が一本化できるため、経費の削減、情報セキュリティ管理の向上などに繋がります。

「クラウド型オープンDB」の訴求ポイント1

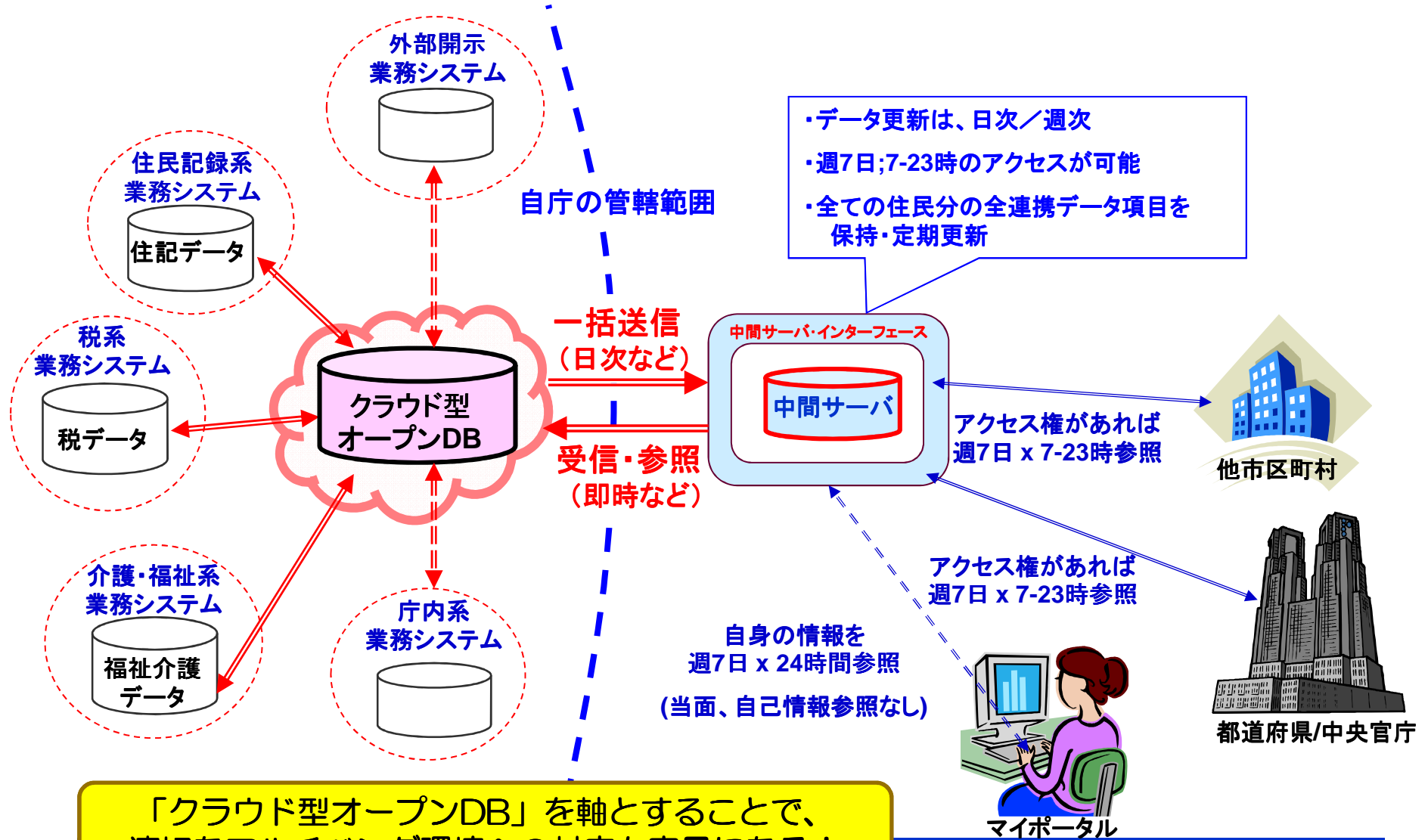
×: 「クラウド型オープンDB」(外部連携のポイント)が“無い”場合



- 視点1. 自庁の間違いが、瞬時に全国に広がる
- 視点2. 業務ごとに中間サーバ向けのデータ変換が必要
- 視点3. ベンダは、自社「標準パッケージ」改造/適用に忙殺
- 視点4. 中間サーバの様式変更は、頻繁に起きる
- 視点5. 庁内業務の連携目的でサーバ用のものが既にある
- 視点6. 庁内連携データ >> 外部データ連携 の関係あり
- 視点7. 送信準備ができてないデータが送られる

「クラウド型オープンDB」の訴求ポイント1

○:「クラウド型オープンDB」(外部連携のポイント)が“有る”場合



「クラウド型オープンDB」を軸とすることで、適切なマルチベンダ環境への対応も容易になる！

「クラウド型オープンDB」の訴求ポイント2

2. 簡便なデータ抽出・データ移行

DB内の全データ項目が、簡便に抽出できるようになります！

特定事業者に依存（ベンダーロックイン）することなく、自治体が主体となって、DB内の全てのデータ項目の抽出ができるようになります。

また、業務システムの更新時でも、ベンダーロックインせずに、自治体が主体となって、新しいシステム（新規事業者のパッケージ製品等）に移行データを受け渡すことができるようになります。

予期せぬ高額なデータ移行費用、突然のデータ抽出費用などが不要になり、財政も安定します。

「クラウド型オープンDB」の訴求ポイント3

3. ベンダーロックインしない高付加価値サービス

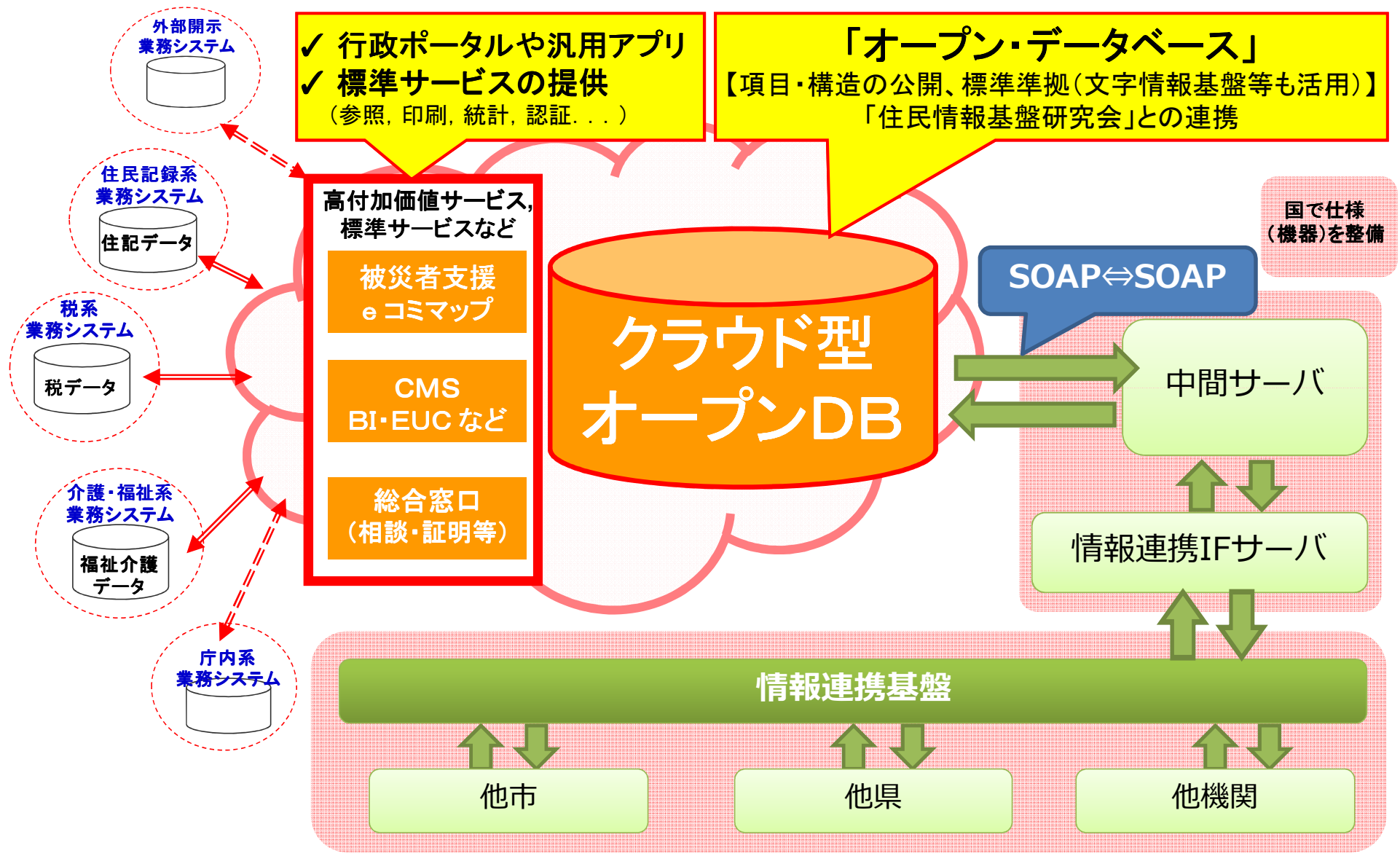
DB内の全データ項目を、容易に利活用できるようになります！

従来は、住基・福祉・税等の業務システムの提供事業者でなければ、当該業務データを利活用したサービス（総合窓口やワンストップサービス、各種コンシェルジュなど）の提供は、大変困難でした。

オープンDBによって、業務システムと切り離れた形で業務データの利活用が可能になります。例えば、窓口業務などでも、指定管理者制度（BPO、アウトソーシングを含む）の活用などが容易になります。

民間ノウハウも活用した総合窓口や総合証明、コンシェルジュなど、新しい企画や調達もできます。

(補足)「クラウド型オープンDB」の概要



**既存システム毎のデータ利活用・管理を統合、集約します！
新たな連携基盤として利活用できるようになります！**

- 既存システム(既存ベンダー)毎に構築されたデータベースを標準化して、「クラウド型オープンDB」(本システム)に統合、集約します。新しい各種連携基盤として活用できるようになります。(既存システム毎のデータベースとは別に、DBを用意します。)
- 自庁内の各システム間のデータ連携は、本システムを経由します。
- 各システムのリプレース時のデータ移行も、本システムを経由します。
- 職員によって、主体的に住民情報などの行政情報資産が管理され、利活用できるようになります。(帳票作成、統計処理、データ分析等)
- 番号制度で必要となる「統合宛名」および「中間サーバとの連携」も、既存システムと直接連携させるのではなく、本システムを経由します。
- 自庁内の各システム毎のデータベースのバックアップ機能としても、活用できます。

Cos-DECが提供を目指す、タイプ別総合窓口サービスの例

コールセンター／コンタクトセンター型



- ・婚姻等の各種ライフイベント相談
- ・粗大ゴミ処理の受付
- ・上下水道コールセンター

- ・よろず相談でも、一次受付が可能
- ・ダイレクトに住民ニーズを把握できる
- ・マニュアル整備等によって市場化テストも実現
- ・個々に住民事情を踏まえた細やかな対応は不向き

自動交付機(KIOSK)／総合証明発行型



- ・住民票や印鑑登録証明の無人発行
- ・総合窓口での様々な証明書発行
- ・町のお知らせ掲示板

- ・休日、早朝、夜間の証明書発行が可能
- ・支所・支庁、公民館、図書館等への設置が可能
- ・ワンストップで一括証明書発行が可能(税+印鑑等)
- ・サービスレベル維持のために運用管理コストが増加

ワンストップ(一括申請)処理型



- ・婚姻等の各種ライフイベントに必要な申請(異動処理申請)の一括実施
- ・基幹システム等が自動的に連動

- ・事前定義したライフイベントのワンストップ処理が可能
- ・事前定義に基き、住基や税等の業務ユニットが自動的に連動し処理される
- ・全体最適化が必須で、数年で費用対効果は出ない

ソーシャルワーク支援型



- ・地域コミュニティ(子育て/福祉)の形成
- ・個々の住民事情を踏まえた各種お知らせ、警告等をダイレクト提供
- ・医療機関やNPO等との連携による発展

- ・子育てやソーシャルワーク分野に集中した一括対応
- ・センシティブ情報も踏まえ、個々の住民に対しての細やかな対応が可能(正規職員による直接対応)
- ・安心・安全社会、定住自立圏構想が推進できる

Cos-DECの提案を実現する サービスと製品

Cos-DECの構成企業(サービスと製品の提供者)

サービスと製品は、Cos-DECの構成企業から提供されます。
それぞれの構成企業は、以下の何れかに分類されます。

▶ 「コンサルティング事業者」

⇒ 自治体へのコンサルティングサービスの提供者、構成企業などへ技術・業務支援を実施 (各種支援・相談の窓口)

▶ 「回線事業者」

⇒ データセンターなどの提供者、構成企業などと連携して回線に関わるサービス・製品を提供 (データセンター・回線の窓口)

▶ 「サービス・プロバイダ」

⇒ 「クラウド型オープンDB」およびそれに準拠した業務システム、高付加価値サービスなどの提供者 (システム導入の窓口)

Cos-DECの構成企業(一覧)

- | | |
|-----------------------------------|----------------|
| ■ ITbook株式会社 [★幹事企業] | →コンサルティング |
| ■ 株式会社アイネス | →サービス・プロバイダ |
| ■ アライドテレシス株式会社 | →コンサルティング |
| ■ 株式会社大崎コンピュータエンジニアリング | →サービス・プロバイダ |
| ■ 北日本コンピューターサービス株式会社 | →サービス・プロバイダ |
| ■ 彩ネット株式会社 | →サービス・プロバイダ |
| ■ ソフトバンク・テクノロジー株式会社 [★幹事企業] | →回線+サービス・プロバイダ |
| ■ 富士ゼロックスシステムサービス株式会社 | →サービス・プロバイダ |
| ■ 富士電機株式会社 [★幹事企業] | →回線+サービス・プロバイダ |
| ■ 日本マイクロソフト株式会社 [★幹事企業] | →コンサルティング |
| ■ 株式会社リコー(リコージャパン株式会社) | →サービス・プロバイダ |
| ■ 株式会社ジェネッツ(ヴェオリア・ウォーター・ジャパン株式会社) | →サービス・プロバイダ |

※ その他、各地域で「地域プロバイダ」(準構成企業)を募集し、協力関係を築きます。

【事務局】 ITbook株式会社(戦略企画室)

【連携団体】 住民情報基盤研究会(参加自治体, IPAを含む), APPLIC, NIED 等

(補足) Cos-DECの構成企業の役割・機能

Cos-DECは、主として以下の役割・機能を有します。

1. Cos-DEC内外との情報交流およびビジネス情報の共有

- 「住民情報基盤研究会(※)」の構成自治体をはじめとした全国の自治体、国、IPAやAPPLIC等の関連団体に対して、積極的に情報を発信すると同時に、情報を収集し、伝達共有する。
- 番号制度対応、自治体クラウドや地域情報プラットフォームの導入等を実現・推進するための共通基盤や共通DB等について、積極的に情報を発信すると同時に、情報を収集し、伝達共有する。

2. 構成企業間における未来につながる協業、事業交流

- ビジネス機会の創出、利害の調整、「住民情報基盤研究会(※)」や関係機関等との交流・提言等

3. 「クラウド型オープンDB」および関連サービスと製品の企画～導入に繋がる、自治体支援

- 「住民情報基盤研究会(※)」をはじめ、全国自治体への総合的な支援
 ※各種有償支援の他、無償支援を含む
 (「クラウド型オープンDB」導入のために必要となる計画化、要求定義、予算・見積等を含む)

※ 「住民情報基盤研究会(事務局:葛飾区)」とは、地方公共団体における「情報技術の標準化」や「情報セキュリティ対策」等を推進するとともに、先進自治体事例も踏まえた各種標準仕様等(「地域情報プラットフォーム」や「自治体クラウドの標準仕様」、「文字情報基盤」等)の活用モデルを検討することを目的とした各団体の情報システム部門長等をメンバーとした研究会のこと。

オブザーバとして、「独立行政法人情報処理推進機構(IPA)」、「外務省 情報化統括責任者(CIO)補佐官」等も招聘しながら、平成25年2月より、葛飾区、豊島区、町田市、八王子市、川口市、松戸市、龍ヶ崎市、東大阪市、政令指定都市である熊本市を含む7市2特別区が中心となって開催している。

「コンサルティング事業者」によって提供されるサービスと製品は、以下の3つに分類されます。

▶ 「POC（実現可能性の検討）[有償・無償]」

⇒ 導入シュミレーション、効果示唆、戦略・企画の策定支援 等

▶ 「コンサルティングサービス」

⇒ 基本計画などの策定、投資管理（予算関連）支援、
調達支援、プロジェクト管理 等

▶ 「技術・業務支援サービス [有償・無償]」

⇒ 構成されるソフトウェア・ハードウェア製品（候補製品）の技
術支援（企業支援を含む）、業務企画・BPR・BPO支援 等

Cos-DECの提案を実現するサービスと製品（回線）



「回線事業者」によって提供されるサービスと製品は、以下の3つに分類されます。

▶ 「Cos-DEC インフラ・サービス」

⇒ インフラの要件定義と実装＋オープン項目・構造の実装、試験、運用・保守、「中間サーバー」標準接続 等

▶ 「Cos-DEC セキュリティ・サービス」

⇒ DB職務（権限）分掌、DBアクセス監視・解析、CIAレポート、BI（ビジネスインテリジェンス）、監査対応支援 等

▶ 「Cos-DEC モバイル・サービス」

⇒ スマートフォン・タブレット利活用、シンクライアント化支援、「クラウド型オープンDB」対応アプリ開発・導入支援 等

「サービス・プロバイダ」によって提供されるサービスと製品は、以下の3つに分類されます。

「業務システム・サービス」

⇒ 「クラウド型オープンDB」への接続する業務パッケージ製品（基幹系, 内部事務系, 情報系など）の販売、導入支援 等

「標準アプリケーション・サービス」

⇒ 「被災者支援システム(LASDEC)」、「eコミマップ(NIED)」、汎用EUC/BI支援、キャビネット(ファイルサーバー) 等

「高付加価値サービス」

⇒ 総合窓口(総合申請受付, 総合相談など)、総合証明発行、各種コンシェルジュなどのシステム提供、BPO化支援 等

Cos-DEC

